

奥出雲町社協だより

2024年

4月

第113号



# ふくしの窓

八川小学校の車いす体験の様子

## 〈主な内容〉

- P2~6 令和6年度事業計画・当初予算
- P7 エンジョイ「えん」
- P8 社協会長杯「つなぐ」グラウンド・ゴルフ大会開催のお知らせ
- P9 社協の相談について
- P10 ふくし出前講座
- P11 寄付のお礼
- P12 お知らせ

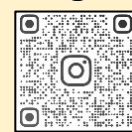
“奥出雲町社協”の日常の様子は  
HP、Instagram、Facebookにて  
随時更新しています。

奥出雲町社協 検索

HP



Instagram



Facebook



ふくしの窓は赤い羽根共同募金の助成により発行しています。

# 令和6年度 事業計画・当初予算

## 【はじめに】

本町においては、人口減少や少子高齢化、単身・高齢者世帯の増加傾向が続き、また厳しい経済情勢による雇用や生活不安などを要因とする生活困窮やひきこもりなど、地域を取り巻く生活課題は深刻化、複雑化している。加えて近年頻発する自然災害や長期にわたったコロナ禍による様々な弊害も、住民の普段の暮らしに様々な影響を与えています。そのような中、社協では地域住民やありとあらゆる企業団体などの関係機関と繋がりをつくり、地域全体がお互いを見守ることができる地域づくりを行っており、特にひきこもり支援については全国的にも類を見ない成果を挙げています。他方、国が進める包括的な支援体制整備において必要とされる多機関協働の中核的役割を担う組織としては、これまで地域福祉の中核を担ってきた社協のみならず、他の社会福祉法人やNPO法人などの多様な主体がその受け皿となることが想定され、改めて地域福祉の推進役としての社協の果たすべき役割や存在意義が問われています。従来、社協は住民主体を基本に地域福祉を推進してきましたが、自治会等の未加入世帯の増加や自治会そのものの高齢化・固定化等により、その活動の停滞も危惧される中、人材の発掘や育成を通じたひらめきと挑戦により、全く新しいつながりの形も生まれつつあります。以上のことから、社協が社会的価値や認知度を高めることで更に地域住民をはじめ多分野からの信頼を深め「**支え合い、助け合い、安心して暮らせるまちづくり**」を目指します。

### 1 つなげる

地域で生活を送るうえで生じる

課題は介護、子育て、障がい、

病気等から住まい、就労、家計、教育等

様々な分野に及びます。

私たちは、これまでの「福祉」という枠を取り払い、

多様な分野の人や組織にアプローチし、

関係性を構築していくとともに、

そうした人や組織同士を

つなげていきます。

### 2 受け止める

私たちは、どのような課題であっても、

まず住民の想いを丸ごと受け止め、

寄り添います。

その後、ネットワークを駆使したり、

住民組織やボランティアグループ等と

協議を重ねるなど、社協らしい

解決策を模索し、共に解決に向けて

行動します。

### 3 挑戦する

私たちは、地域で生活を送るうえで

生じる課題に正面から向き合い、

制度や前例に捉われず、

地域住民とともに新たな活動や

サービスを生み出し、

その解決に向けて

常に挑戦します。



## 収入の部 合計 58,504 千円

会費収入 2,737 千円	寄付金収入 4,398 千円	補助金収入 14,941 千円	受託金収入 27,548 千円
事業収入 4,640 千円	貸付事業収入 3,000 千円	受取利息収入 200 千円	その他の収入 40 千円
前期末残高 1,000 千円			

## 【社会福祉事業・公益事業】

### 支出の部

※事業ごとにご紹介します。

#### 1 善意銀行運営事業 (2,340 千円)

町民の皆様からいただく浄財や物品を適切に管理運用し、地域福祉を推進する。

1. 積立金管理運用検討委員会の開催
2. 寄付金や寄付物品の募集と有効活用

#### 2 法人運営事業 (9,616 千円)

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各事業の調整等を行う法人全体のマネジメント業務にあたる。

1. 理事会、評議員会、監査会、評議員選任解任委員会、内部経理監査会等の運営
2. 社協会員の募集と加入促進
3. 財務運営と管理
4. 自主財源確保に向けた体制づくり
5. リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制の整備
6. 計画的な採用・異動・人事評価等の人事管理
7. 研修・能力開発等の計画的な人材育成
8. 労働法制等に基づいた労務管理
9. 所轄庁への届け出や対外的な法的対応を行う法務に関する業務
10. 多様な媒体を利用した広報活動
11. 第3期奥出雲町地域福祉活動計画の策定
12. 社会福祉法人連携社会貢献事業の推進

#### 3 防災・災害対策推進事業 (409 千円)

奥出雲町地域防災計画との密接な連携のもと、社協が行うべき業務や役職員の行動指針を定め、関係機関等と協力しながらそれぞれの役割を共有し、災害発生時に迅速に対応する。また、地域づくりの一環としての災害対策を推進する。

1. 組織内部での災害対策の推進
2. 防災意識の啓発
3. 災害ボランティアの登録推進
4. 災害対応マニュアルの見直し
5. 地域防災関係機関等との連携
6. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣
7. 中国山地県境4市町社会福祉協議会との連携

**能登半島地震被災地の社会福祉協議会が設置する  
“災害ボランティアセンター”に職員を派遣します！**



#### 4 ボランティアセンター事業 (1,178 千円)

住民のボランティアに関する理解と関心を深めるとともに、ボランティアの育成を図ることにより、助け合いの輪を広げる。

1. ボランティア活動に関する調査、研究
2. ボランティア活動の普及・啓発
3. ボランティア活動支援事業の実施
4. 中学生共に生きる力を育てるワークショップの開催

**自治会等での集いの場(サロン)を開催してみませんか？  
社協から“サロンサポーター”を派遣します！**



## 5 おくいずも流地域力活性化事業 (3,210 千円)

住民ひとりひとりが安心して生活できる地域をつくるため、'向こう三軒両隣精神'を土台とする地域社会のしくみを再建し、住民が主体的に自らの力を集結した地域力を醸成することを支援する。

1. 福祉振興協議会、地区振興会の活動支援と協働
2. 福祉委員活動の活性化の推進
3. 地域住民同士の繋がり強化
4. 老人クラブ連合会、遺族連合会等の地域活動団体の支援
5. 障がいに関する理解促進
6. 自死予防対策の推進
7. 福祉教育の推進
8. 『地域共生社会創造支援助成事業(島根県社会福祉協議会主催)』の推進

老人クラブに  
入って町を盛り  
上げましょう!



## 6 困りごと支援事業 (290 千円)

様々な困りごとを抱え援助を必要とする方のお手伝いをするにより、その方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう支援する。

1. 福祉用具の無料貸出とリサイクルの実施
2. 『出張なんでも相談所』と『社協職員なんでも相談窓口』の開設
3. 『おたすけフード基金』の管理運用

## 7 企業と社協の連携事業『つなぐ』 (978 千円)

既存制度では対応が困難なひきこもり状態にある人に対し、地域とのつながりを適切に確保する支援を行うとともに、地元企業や地域全体で支える基盤を作る。

1. 対象者本人やその家族に対する相談支援と見守り
2. 対象者本人の社会活動体験の実施
3. 一般就労または他のサービス等の利用に向けた支援と卒業後の継続的な見守りの実施
4. つなぐ協力企業との連携強化と新規開拓



## 8 学校と社協の連携事業『むすぶ』 (210 千円)

学校等と社協のつながりを強固なものとする中で、特別支援学級や不登校等の子供とその家族のニーズや課題の早期発見につなげ、誰もが地域で活躍できるまちづくりの推進を図る。

1. 児童生徒への福祉教育の実施
2. 学校や行政の取り組み等に関する調査研究
3. 保護者との連携と情報提供等



## 9 ひきこもり支援ステーション事業 (10,967 千円)

ひきこもり支援の基盤を構築し、ひきこもりの状態にある本人や家族の状況を踏まえた早期支援、自立支援を図る。

1. ひきこもり相談所の開設や支援機関等の情報発信
2. 居場所の提供
3. 関係機関とのネットワークづくり
4. 当事者会並びに家族会の開催
5. 住民向け研修会の開催
6. ひきこもりサポーターの養成と派遣
7. 実態把握調査
8. 福祉事務所との連携による困窮状態にある世帯の相談援助



## 10 介護予防普及啓発事業 (町受託事業) (5,626 千円)

高齢者に対してフレイル予防に関する知識を提供することにより、生活の助長、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上を図る。

1. 各地区コミュニティセンター等での各種専門家と介護予防指導員による『フレイル予防塾』の開催
2. 『男の生涯現役道場』の開催

**1年で体年齢が20歳若返った道場生もいます。  
目指せイケオジ(イケてるおじさん♡)!**



## 11 高齢者等みまもりネットワーク事業 (町受託事業) (4,881 千円)

支援ネットワークを通じた見守り体制を強化することにより、高齢者の安心安全な生活を支援する。

1. コールセンターのオペレーターによる通話での見守りの実施
2. 役場関係部署やその他関係機関との連携した支援の実施

## 12 介護予防拠点施設管理事業 (町受託事業) (1,417 千円)

高齢者が介護を要する状態にならないよう予防し、生きがいを持って毎日を送ることができるよう支援するための施設を管理する。

1. 介護予防を目的とした活動を実施する団体または近隣自治会等への施設貸出
2. 施設利用申請書並びに報告書の受付と利用料の徴収
3. エレベーター、消防設備保守など施設設備の管理
4. 防火訓練の実施

## 13 生活困窮者支援等のための地域づくり事業 (町受託事業) (5,884 千円)

地域住民相互の支え合いによる共助の取り組みの活性化を図りつつ、生活困窮者等と地域とのつながりを適切に確保し、地域全体で支えるしくみを構築する。

1. 生活困窮等に関する相談支援
2. 地域サービスの創出
3. 地域における活動拠点の確保
4. 生活困窮世帯に対する食糧等の配付
5. その他地域福祉の推進を図るための活動

<b>14 伴走型支援事業 (80 千円)</b>
ひきこもりや生活困窮等により社会的孤立感や生きづらさを感じている方に対し、課題解決型支援と並行してつな がり続ける伴走型の支援を実施する。
1. 適切な制度またはサービスを利用するための情報提供並びに同行支援 2. 社会的孤立等に伴う生活上の困難への付き添い支援 3. 『おたすけフード』による食糧や生活用品等の提供 4. 定期的な見守り支援
<b>15 福祉サービス利用援助事業『まもるくん』 (4,624 千円)</b>
認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が十分でなく、日常生活を営むのに支障がある方に対 し、福祉サービスの利用援助並びにその他の福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に実施する。
1. 相談並びに申請の受付 2. 専門員(職員)による支援計画の作成と契約の締結 3. 生活支援員による支援計画に基づいた福祉サービスの利用援助等 4. 通帳、年金証書などの重要書類等の預かりサービス 5. その他福祉サービス利用に係る援助等 6. 事業周知のための研修会の開催
<b>16 法人後見事業 (500 千円)</b>
認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など、意思決定が困難な方の権利擁護のため、法律的な支援を実施す る。
1. 成年後見制度に基づいた法人後見の実施 2. 法人後見運営委員会の開催 3. 事業周知のための研修会の開催
<b>17 資金貸付事業 (3,010 千円)</b>
生活に困窮する世帯の自立と更生のため、小口現金の貸付と相談支援を実施する。
1. 民生融金の貸付と償還指導 2. 借受世帯の自立更生に向けた相談援助 3. 定期的な償還状況等の確認と通知 4. 民生融金審査会の開催
<b>18 生活福祉資金貸付事業 (368 千円)</b>
低所得世帯、障がい者世帯等の自立と更生のため、各種資金の貸付と相談支援を実施する。
1. 相談窓口、申請窓口の開設 2. 民生児童委員との協働による借受世帯に対する相談援助 3. 島根県社会福祉協議会が実施する現地督励会への協力 4. 新型コロナ特例貸付の借受世帯の自立支援
<b>19 屋内ゲートボール場管理運営事業 (1,116 千円)</b>
生涯スポーツの振興により、地域福祉の増進を図る。
1. 生涯スポーツの普及啓発と世代間交流の推進 2. 施設の管理運営(奥出雲多根自然博物館委託) 3. 防火訓練の実施 4. 各種イベントや行事における施設利用の促進
<b>20 グラウンド・ゴルフ場管理運営事業 (1,800 千円)</b>
生涯スポーツの振興により、地域福祉の増進を図る。
1. 生涯スポーツの普及啓発と世代間交流の推進 2. 施設の管理運営 3. 企業と社協の連携事業『つなぐ』メンバー(ひきこもり対象者)への就労体験の場の提供 4. 各種イベントや行事における施設利用の促進




# エンジョイ『えん』

取りあえず  
来てみるだけ

参加費  
無料

## どんな場所？

- ・ eスポーツしたり… 
- ・ お茶を飲みながら話をしたり…
- ・ 自分の好きな本を読んだり…
- ・ どこかへ出かけたり… など



日時

毎月第4月曜日 13:30～15:30

(ただし、祝日にあたる場合は日程変更をします)



場所

奥出雲町社会福祉協議会 仁多事務所(三成260-1)

送迎付き

●送迎をご希望の方はご連絡ください。

年齢制限なし

●未成年者の場合は、保護者の同意が必要です。

予約不要



“出かける場所があればなあ”と、思っている人 “地域に出かけて社会参加したいけど苦手だなあ”と、思っている人、まずは、ここから始めてみませんか!

# 令和6年度

## 社協会長杯

# 「つなぐ」グラウンド ・ゴルフ大会

どなたでも

参加可能

初心者の方も  
大歓迎！！

日程は下記の通りです

5月	22日	13:30~
6月	26日	13:30~
7月	24日	9:30~
8月	28日	9:30~
9月	25日	9:30~
10月	23日	13:30~
11月	27日	13:30~
12月	10日	13:30~

★場 所

グリーンヒルさとう

(高尾 1786-8)

★参加費

1,000円

★定 員

100名

★競 技

8ホール×2ラウンド

★表 彰

男女各1~5位



※毎月第4水曜日に開催

(12月は冬期間のため曜日を変更しています。)



## 令和6年度 出張なんでも相談所



どんな相談ができますか？

相続のこと、近所トラブル、仕事、人権問題などなど、なんでもご相談ください。



どんな方が相談にのってくださいますか？

行政書士、民生児童委員、人権擁護委員が対応します！また、8月と2月は**弁護士相談**を予定しています。



いつが相談日ですか？また会場はどこでされますか？

毎月15日（休日の場合はその前日）です。各地区の公民館・コミセンで行います！詳しい日程はチラシをご覧ください。



←ホームページからも見ることができます。



←チラシは毎月発行します！ぜひご覧ください。

## 令和6年度 ひきこもり相談『みらい』

ひきこもり当事者やご家族、親戚などひきこもりに悩んでおられる方、誰でも相談できます。

また、毎日相談日なのでお気軽に来所または訪問、電話やメールでのご相談ください。

★電話 0854-54-0800

★メール [syakyok@okuizumo.ne.jp](mailto:syakyok@okuizumo.ne.jp)



# 社協の

## ふくし出前講座で誰もが暮らしやすい町へ

奥出雲町社協では、あいサポーター研修、車いす体験、高齢者疑似体験などの項目で福祉出前講座を行っています。改正障害者差別解消法が令和6年4月1日に施行され、事業者による障がいのある人への合理的配慮の提供が義務化されました。社協のふくし出前講座を通して誰もが暮らしやすい町になるよう皆さんで考えていきませんか。

今回は、横田小学校、八川小学校で行った出前講座を紹介します。

※**あいサポート運動**とは・・・障がいの特性や障がいのある方への必要な配慮などを理解し、必要な時にちょっとした手助けができるよう実践する運動です。

2/13  
(月)

### 横田小学校

4年生を対象にあいサポーター研修と車いす体験を行いました。手話や視覚障がいの方の見え方などを中心に行いました。「色が変わって見える」や「全然見えない」などの感想がありました。



段差がありますよ

手話体験の様子



3/4  
(月)

### 八川小学校

3年生を対象に車いす体験を行いました。基本的な操作の確認をした後は八川コミセンまで車いすで移動したり、スロープを体験したり、八川コミセンのトイレを見学したり、学びの多い1日になったのではないかと感じています。



外は緊張するなあ

スロープ体験の様子



今年度もふくし出前講座を随時受付ております。  
興味のある方はお気軽にお問い合わせください！  
またHPからも活動の様子を見ることができます。



詳しくはHPをご覧ください。  
右記の冊子もご覧ください。



# 寄付のお礼

奥出雲町社協では、次の方々から  
ご寄付いただきました。  
紙上にてお礼申し上げます。  
誠にありがとうございました。

(令和六年二月一日)

令和六年三月三十一日受付分掲載)

## 香典返し・

### 玉串料返し等(受付順)

藤原良和様(三成)  
故 緑様  
難波敏彦様(三成)  
故 郁子様  
梅木清光様(大谷)  
故 英雄様  
種村正人様(小馬木)  
故 武夫様  
篠原昭江様(馬馳)  
故 松田百代様  
渡部雄二様(上阿井)  
故 光義様

矢島慎二様(松江市)  
故 道子様  
高木広善様(下阿井)  
故 田中徳子様(松江市)  
田部博也様(下横田)  
故 忠廣様  
小倉一夫様(馬馳)  
故 正春様  
福間誠様(八代)  
故 美枝子様  
山本順一様(上阿井)  
故 英子様  
田中克彦様(小馬木)  
藤木俊成様(竹崎)  
故 冴子様  
藤原治幸様(稲原)  
故 昇様  
糸原良彦様(大馬木)  
故 澄代様  
栗原伸児様(八代)  
故 三佐男様  
安部要二様(大呂)  
故 哲吉様

安部秀男様(下横田)  
故 茂子様  
萬田輝夫様(郡)  
故 ミツ子様  
森山公子様(河内)  
故 時子様  
梅木清光様(大谷)  
故 勅江様  
稲田明吉様(稲原)  
故 一郎様  
安部澄夫様(中村)  
故 千鶴子様  
永井貞泰様(京都府)  
藤原正路様(高尾)  
故 悟様  
稲田一夫様(奈良県)  
故 文江様  
友塚敏伸様(三所)  
故 玉江様  
恩田文夫様(三所)  
故 ユキ子様

加野幸雄様(高尾)

故 清様

白根誠治様(出雲市)

故 茂様

### 見舞い返し(受付順)

加野幸雄様(高尾)

### 善意の寄付(受付順)

アコ様

横田相愛教会様

昭和十四年卒亀高小学校同窓会

「竹馬会」様

### 物品寄付(受付順)

JASしまね雲南女性部

仁多支部様(古切手)

大仁地区更生保護女性会

仁多支部様(古切手)

## NPO 法人ふきのとう様から義援金を頂きました

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の義援金を NPO 法人ふきのとう様から頂きました。今回の義援金は、ふきのとうのメンバーさんの発案で募金をされたようです。

ご協力をいただきありがとうございました。



左から勝田会長、石見夏歩里さん、延谷伸吾さん

## 令和6年度職員体制のお知らせ

職名	氏名
事務局長	田食 喜美子
主任	小櫻 美可子
主任	古井 将貴
主事	中村 望生
介護予防普及啓発指導員	三谷 百合子
コールセンターオペレーター	田中 玲子
コールセンターオペレーター	唐桶 抄子
グラウンド・ゴルフ場管理者	石原 照雄

職員一丸となり奥出雲町の地域福祉を推進していきたいと思ひます。

今年度もよろしくお願ひ致します。

## 顔の見える社協！！職員紹介 part 1

①趣味 ②意気込み

生活福祉  
資金貸付  
事業等担  
当します

小櫻美可子  
【主任】

- ①ふらっとドライブ温泉
- ②「やっぱり社協だね！」と言ってもらえるように頑張ります。

田食喜美子  
【事務局長】

- ①家事が趣味という財布に優しいエコ人間です。
- ②「困ったら社協、困ってなくても社協」と思っただけのよう精進して参ります。

福祉サービス利用  
援助事業等担  
当します

- ①最近、BG～身辺警護人～(ドラマ)にハマっています！
- ②4年目になりました。元気に頑張ります！！

中村望生  
【主事】

法人後見事業  
や老人クラブ  
連合会等担  
当します

古井将貴  
【主任】

- ①めだか飼育・スノーボード
- ②「またジョーホーに出とったね！」と言ってもらえるほど、地域に出かけます！

仁多事務所

〒699-1511 島根県仁多郡奥出雲町三成 260 番地 1  
Tel (0854)-54-0800 Fax (0854)-54-0801  
有線 31-0800  
E-mail syakyo@okuizumo.ne.jp

横田事務所

〒699-1821 島根県仁多郡奥出雲町稲原 57 番地 6  
Tel (0854)-52-0294 Fax (0854)-52-0137  
有線 20-0294

